



サテライトオフィス笛吹構想

# サテライトオフィス 笛吹周辺に整備計画 事業者が構想説明会

サテライトオフィス笛吹の事業構想に  
ついての説明会  
＝笛吹市スコレーセンター

ソフトウェア開発などのジ  
インズ(笛吹市境川町三柵、  
広瀬光男社長)は9日、笛吹  
市スコレーセンターで、同社  
が中心となって整備を目指す  
「サテライトオフィス笛吹」  
の事業構想説明会を開いた。  
ジインズはリニア中央新幹  
線の開業を見据え、東京から  
30分圏内となる笛吹市周辺に  
サテライトオフィスを整備す  
る計画を進めている。説明会  
には自治体や金融機関、県内  
外の企業関係者ら約60人が参  
加し、広瀬社長が事業構想の

概要について説明した。  
構想によると、サテライト  
オフィスの利用に関心のある  
首都圏の企業を募り、研究会  
を設置する。研究会で詳細な  
計画を話し合うとともに、利  
用希望企業の出資で事業会社  
を設立し、用地買収などを進

める。  
広瀬社長は県庁を退職後、  
甲斐市竜王の竜王赤坂ソフト  
パークの企業誘致や専門学  
校サンテクノカレッジの立ち  
上げに携わった経歴を持つ。  
「災害が頻発する今、本社の  
バックアップ機能を確保する

東京から参加したIT企業  
の経営者は「面白い取り組み。  
中長期的にサテライトオフィ  
スの利用を検討したい」と話  
していた。山梨大学院生命  
環境学域の大山勲教授による  
講演もあった。  
〈渡辺真紗美〉



7/10 金

という意味でもサテライトオ  
フィスは必要。新型コロナウイルス  
の感染拡大で過密状態  
の東京を離れる動きも加速  
し、「需要が高まる」と話して  
いる。